

平成23年12月(2011年)No.552

## 今年はいろいろありました

会長 合原一夫

今年3月11日の東北大地震、福島原発放射能、和歌山の豪雨土砂災害と大きな災害が発生しました。この大阪の地は幸いにして直接的な被害はなかったのですが、災害はいつ発生するか判りません。日常の事故を含めてお互い日ごろから準備と心構えをしておく必要を感じております。

一方、わが映像界も変わってきました。テープ式カメラが店頭から消えていまやメモリーカード方式にとって変わり、例会でもブルーレイ作品が増えてきました。私など目まぐるしく変化する映像のハード面の変化に対応しきれずに、未だに4対3の通常のテープ方式を捨てきれず何とかハイビジョンでテープ作品を作るのが、せい一杯で、このままでいいのだと自分に納得させている始末です。それでも会員諸氏が先を争うように新しい方式を採り入れて制作されていることに敬意を表するところです。毎月の例会も今のところ例年通りの出品数と作品レベルを維持していて、高齢化による落ち込みは見られないものの、出席者数がやや減ってきた感があります。いずれ集計して過去との比較表を作りますが、夜の例会に出にくくなってきた人が出始めたのかも知れません。

私は今年から日本アマチュア映像作家連盟会長の要職を引受けせざるを得なくなり、体調がいまひとつの調子のなか、こなすべき課題と仕事の多さに翻弄されております。川上勝悟氏が如何に一人で頑張ってこられたかを改めて感じ入っているところです。あと10年若かったらと思うのですが”年をとる”ということは、こういうことなのかと考えてしまう時があります。ですが来年はタツ年、何とか龍が舞い上がるように、課題を克服して前向きに行動していかなければ、と今年を締めくくっておきます。どうか会員の皆さん、来年も楽しく元気で活躍されます様、祈念いたします。

### 12月例会のお知らせ

今年最後の12月例会は第4土曜24日午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。来期の年会費8千円を会計に納めてください。世話役、幹事の方は別紙案内の通り打ち合わせがありますのでよろしく。

## ■予告

- ・1月例会は例年通り第2日曜15日13時より開催、例会後休憩をはさんで総会を行います。
- ・新年会：総会終了後17時頃より例会場の上階にあるレストラン・スーパードライ難波にて新年会を開きます。会費5千円は会場にて申受けます。
- ・新年会出欠ハガキは、年内に投函してください。

## ■DVD贈呈のお礼状がきました

健康上の理由があって、ほとんど例会へ出て来れない方へ、既報のようにOMC映像フェスティバル作品集をお送りしましたところ、お礼の電話や礼状が参りました。

### ・安居利次さんよりのお便り

朝夕気温が下がり秋の深まりを感じます。第51大阪ムービーサークル映像フェスティバルのDVDをお送りくださりありがとうございます。

久しぶりにOMC会員の個性あるビデオ作品をみせてもらい、なつかしさと臨場感に感激しております。

早く仲間に入れてもらおうと思っているのですが、体調の方が思うように回復せずくやしいです。でも頑張ってみます。ありがとうございました。

## ■西井学さんが奥さんと「駅前映写会&フランス刺繍展」を開催

体調不良でOMCを今年から退会されていた守山の西井学さんから、退会后初めて便りが来ました。何とかお元気でビデオ活動も続けていらっしゃるようです。12月5日から11日までJR守山駅前総合案内所でビデオ映写会と奥さんのフランス刺繍展を開催される由。ご夫婦でイベントを開くということは大きな喜びであり、よき思い出となることでしょう。これからもどうかお元気でお過ごし下さい。

## ■2012淀川映像祭り・第3回市民ムービーグランプリ、作品募集中

15分以内、テーマ自由、出品料千円、グランプリ賞金5万円、優秀賞2万円。出品希望者は応募用紙があります。

## 11月例会のレポート

11月の例会は26日の午後6時より何時もの例会場で開催しました。司会、上田さん、書記、有村さん、デッキ係に井上さん、河合さん、江村さん、受付兼照明係を宮井さん、紙本さん、宮崎さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、江藤、江村、上田、岡本、上総、紙本、河合、河口、黒田、高原、進藤、関、高瀬、華岡、宮井、宮崎、森口、森下、山本、吉岡（敬称略）の22人と作品本数15本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村世話役です）

### 1) 西宮神社の七五三 (BD)

吉岡貞夫さん 9分45秒

七五三は3才、5才、7才になったわが子の成長を祝って神社やお寺に詣でる日本独特の年中行事で、本来は11月15日におこなっていた様です。現在では、旧暦だった日も新暦になり、子供の年齢も数え年が満年齢でもよく、日も15日に拘らずにその前後の親の都合のよい時でよいようです。吉岡さんはお得意の神社で早くから千歳飴の袋詰めをしている巫女さん達を取材され、11月3日の模様を撮影してこられました。親や祖父母に付き添われた可愛らしい子供が沢山居ました。中でも着飾った女の子が素晴らしいです。楽しい作品でした。

### 2) 華の泉州路2011 (HDV)

上田吉巳さん 5分10秒

タイトルが表題の、作詞、作曲、歌手も岸和田のご当地ソングをバックに今年のだんじり祭りが出てきます。お住まいが岸和田の上田さんですから、撮影のポイントもなれたもので、勇壮なだんじりが次々に現れます。やり回しで民家の屋根に激突するのを見ますと、その保証なんかはどうなるのか心配です。NHKの朝ドラにも取り上げられて今年の岸和田は大いに盛り上がっている様です。

### 3) スタリーモスト (HDV)

山本正夢さん 7分00秒

題名は、とお聞きしますと世界遺産の橋の名前だそうです。それは何処に、ボスニア・ヘルツェゴビナだそうです。有名なボスニア紛争で破壊された橋を建て直してそこで川中に飛び込む若者が出てきます。町中の建物の壁には弾痕や爆弾の跡が残っています。紛争の犠牲者のお墓、市場、羊の丸焼き等が紹介されます。ネットで調べますと、モスタルという名の町だそうです。珍しい風物を見せて頂きましたが、タイトルは「スタリーモストのある町」とされた方が良いのでは、と思いました。

### 4) 雨の火祭 (HDV)

河合源七郎さん 8分00秒

能登半島のキリコ祭を次々に作品にされている河合さん、今回は小さな集落、向田の火祭りを紹介されています。日本一大きいと自慢する柱松明の回りを雨の中、勇壮に駆けめぐります。夜空にきらめく火の粉が見事です。雨の中での撮影、ご苦労さまでした。

### 5) 大阪ビルウォッチング (BD)

有村 博さん 9分00秒

大阪難波の高島屋を起点に心斎橋、淀屋橋と御堂筋を中心に新旧ビルを撮りに出掛けました。北浜や肥後橋にも寄って最後は新装なった大阪駅の界限です。百年以上も前に建てられたビルや新築中のビルなど、少し時間が経ちますと辺りの風景が全く違ってしまふ都会の変遷を楽しんでみました。今日の例会では音声の再生がうまくゆかずに、全作品ともに残念なことでした。

### 6) キリシタン大名高山右近 (HDV)

紙本 勝さん 15分00秒

紙本さんがこの作品を作るに当たって訪問された場所は幾つあったでしょう。高山城跡、沢城跡、芥川城跡、高槻城跡、余野城跡、豊能の里、高槻、茨木の資料館、有岡城跡、本能寺、船上城跡、金沢城跡、高岡城その他数え切れません。それに各城での武将の名前や出来事、年代が次々に紹介されます。そしてフィリピンのマニラで亡くなる迄の右近の足跡を描いておられま

す。じっくりと歴史小説を読むのであれば理解出来るのですが、短い時間でのこの情報量では前後3回拝見しましたが全部を理解するのが大変でした。それほど的情熱をもって作られた作品ですので、心から敬意を表したいと思います。

### 7) シーボルト博物館 (BD)

井上勝彦さん 8分06秒

オランダを旅された井上さんご夫妻、ライデンの町にある博物館を訪ねられました。ドイツ人医師シーボルトは若くして来日し長崎オランダ館付き医師として蘭学や西洋医学の日本での普及に貢献する傍ら日本探索に没頭し、やがてオランダへ、そこで日本文化紹介の礎を作ったと言われます。館内は彼が持ち帰った日本研究の為の資料が沢山展示してあり、ヨーロッパでの日本研究の情報センターの様な役割を果たしている様です。作者は学生の頃からこの町に一度行ってみたいとの思いだったそうで今回その目的を達成され作品を完成されました。珍しい所を見せて頂き、有り難うございました。

### 8) お身拭い (HDV)

前田茂夫さん 6分34秒

8月お盆を前に一年一度の行事、奈良の大仏のすす払いを撮影されました。3脚禁止を知らずに撮影を重ね、終わりに近くなって注意されたとの事。見事に撮っておられます。早朝から大仏の魂を抜く法要が営まれ、午前中早くに終わる出来事をよく撮られました。白装束姿の僧侶や関係者が雑巾やはたきを持って、天井から吊したゴンドラに乗るなどして観光客の見守る中、大仏の手のひらや螺髪などのほこりを落とすてゆきます。終わって改めて大仏の大きさを実感したとの事でした。

### 9) 雪の竹田城址 (HDV)

江村一郎さん 6分10秒

JR播但線の竹田駅でしょうか。或いは和田山駅でしょうか。雪の中、豊岡行きの列車が入ってきます。そして城址の上から集落の中を走る列車、鉄ちゃんの映像が続きます。雪景色が見事です。やがて雪が降り出して雲の合間を見え隠れする太陽、こ

れはなかなかチャンスが無い見事な風景です。今年1月の厳冬期に2~3回も行かれて撮影されたそうです。積もる雪の中、隣の山からも城址の遠景が見えます。これは立派な映像詩と言えるでしょう。お見事でした。

#### 10) 高源寺の秋 (BD)

進藤信男さん 7分27秒

兵庫県丹波市にある紅葉三山の一つと言われるお寺に行かれました。山沿いの広大な敷地にある建物を紹介され、このお寺の故事来歴が語られます。紅葉は夏の暑さとの寒暖の差が大きい年ほど美しくなるそうですが、今年は天候不順で今一つの様です。それでもこのお寺は春の新緑、秋の紅葉の時期には大勢のお詣りがあり、毎年リピーターが多いことでも知られているようです。来年再度訪ねてみたいと結んでおられます。

#### 11) 越前水紀行 (HDV)

森口吉正さん 9分30秒

名水探訪のお得意な森口さん、今回は福井県越前市を訪ねられました。最初は女性神の古い神社に行かれ、越前和紙の里へ、地元の紙漉唄を唄いながらの紙漉を見学、そして山中のお寺へ、ここは佐々木小次郎の生家のあった所とか、そして名瀑へ、最後は越前海岸に近い福井の美味しい名水を紹介されます。車を駆っての田舎の風景を楽しませて頂きました。

#### 12) ポン太の散歩 (HDV)

高瀬辰雄さん 2分30秒

ご自宅の高瀬陶器店の店先にいる信楽焼きの狸のポン太君、前の川沿いが騒がしいので見に出掛けます。子供達を交えてのざりがに釣りを見て、京都三条通りを歩いてご近所の紹介が始まります。神泉苑や立命館、仏教大学など、そしてJR二条駅へ、古き良き時代の京都を回想しながらの散歩です。随所に出てくる狸はクロマキーでの合成でしょう。見事にマッチしていました。楽しい作品でした。

#### 13) カーネーションのまち (HDV)

宮井 健さん 9分45秒

NHKの朝ドラ「カーネーション」の岸

和田は宮井さんの住む町、南海電車岸和田駅から始まって市内の各所を紹介しておられます。駅前商店街、城見橋、本町町屋通り、蛸地蔵尊、駅、三の丸神社、16軒長屋、岸和田城、こなから坂、岸城神社、かんかん場、浪切ホール、岸和田港等々。ナレーションも岸和田弁でしょうか？故郷の紹介ビデオでした。

#### 14) フランスの有機農家より (HDV)

江藤洋司さん 9分33秒

「8月に暇だったからフランスへ行った」で始まるこの作品、何度見ても残念ですが全部を理解出来ませんでした。羊を飼い、養蜂もしている葡萄畑のある農家です。オーストラリアの大学で建築を学んだ人が木工細工をしています。やがて江藤さん本人が出てきて沢山のワインの瓶を運ぶ手伝いをします。「私は何も出来ないので足手まといだった」と。そして何処かの駅まで車で送ってくれた農家の人に「来年も来るか？」と聞かれて何も答えなかったそうです。「フランス語が判らないので英語で意志疎通をした」との事でした。判ったのはこれだけでした。江藤さんが何故一人でそこへ行かれたのか、そこはフランスのどの辺なのか、何泊、何日居られたのか、知りたかったです。理解出来なくて済みません。

#### 15) 月見祭 (HDV)

宮崎紀代子さん 9分43秒

堺市の百舌鳥八幡宮で中秋の名月の前後の土、日曜日に行われる祭を取材されました。秋の収穫を祝い、月を見る例祭だそうです。有名な布団太鼓が大勢の参詣者の中を練り歩いています。やがて平日の八幡宮が出て広い敷地が紹介されます。やがて1台の布団太鼓が出発します。出発式など克明にその様子が描かれ、1時間にわたり70人もの人達に担がれた勇壮な姿が撮られています。大勢の観客の中でよく撮影されましたね。見事な作品でした。

これで総ての上映を終わり、何時もの様に居酒屋組と喫茶組に別れて2次会を楽しみました。